

被ばく低減対策や安全確保に関わるコミュニケーションを学ぶ

東京電力福島第一原子力発電所構内で作業を行う方のための

作業指揮者用研修 開催しポ一ト

福島第一原子力発電所の廃炉作業を進める上で、必要となる被ばく低減対策や放射線に関する基礎知識を学ぶ研修を、2023年10月20日（金）に福島第一原子力発電所協力企業棟で開催（ハイブリッド形式）しました。

研修開催日

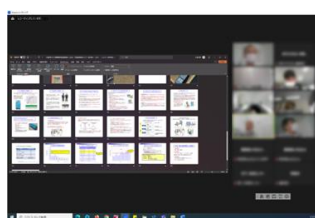
<開催日時>
10月20日（金）9：30～14：30

<会場>
福島第一原子力発電所 協力企業棟
242号 a・b教育室

<講師>
・佐藤 忠道 氏
（原子力デコミッション研究会 事務局長）
・木村 浩 氏
（木村学習コンサルタンツ 代表）



会場参加の様子

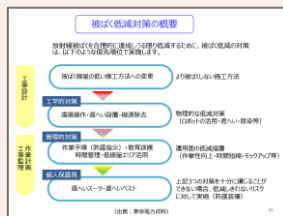


オンライン参加の様子

プログラム

<作業指揮者講座>

- 放射線に関する基礎知識
- 発電所内の高線量箇所における措置、遮へい設備に関する知識
- 休憩所、非常時の避難経路に関する知識
- 作業時間の短縮、遮へい用防護衣の着用等
- 作業中の被ばく線量の把握、作業時間の管理の方法
- 計画線量及び警報設定値の決定の方法及び、その遵守の方法
- 被ばく低減対策の概要



<安全確保に関わるコミュニケーション講座>

- 情報に含まれる要素とやり取りにおける齟齬
- 感情とは何か、「気づく」ということ

「言葉」はそのまま伝わらない

- ・言葉だけがメッセージではない。
- ・あなたの態度、会話の状況もメッセージである。
- ・同じ話をしていると思っても違うことを考えていることがある※。
- ・あなたと相手の理解の方法、信念・価値観・先入観などの違いが、メッセージの理解に影響を与える。

情報に潜むバイアス

- ・人は、物事が独立した状態で認知したり、記憶したりはしない。
- ・過去の経験や期待、その物事が起こっている周囲の状況を考慮し、新しい情報を解釈、処理している。
- ・状況が異なれば、同じ刺激や情報であってもまったく違うように受け止められる。

アンケート結果（受講者の声）

- 佐藤講師が短時間で、作業指揮者の被ばく低減対策について重要なポイントをわかりやすく説明してくれたことに、感謝しています。
- 被ばく低減方法等、勉強になりました。話し過ぎず相手の話を「聴く」こと、木村講師の講義を受けて、今後は自分も、話しやすい雰囲気作りを意識していこうと思いました。
- 木村講師のバイアスの確認のワナに関する内容で、脳内は自分の都合の良いように出来ているというお話は、自分自身を見透かされているようでした。

研修内容は今後の業務に役立つか？



今回の研修は有意義だったか？

